

新春の青空の下、晴れやかに第一歩



平成27年豊丘村成人式

※関連記事 2面



第 647 号

発行人●豊丘村公民館
唐澤克己
編集人●長野県下伊那郡
豊丘村公民館
編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村

(1月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,415人
女 3,519人
総人口 6,934人
世帯数 2,105戸

明けましておめでとうございませう。村民の皆様には、日頃公民館の事業にご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

昨年、新しい公民館、交流学習センター「ゆめあるて」が完成しました。おかげさまで開館以来利用者も増え、公民館活動も日々充実しております。また、当初から念願の二つの機能、「学び鍛える場」と「憩い安らぐ場」とがバランスよく両立し、施設の中には常

2015年 年頭挨拶

3年8ヶ月を振り返って

豊丘村長 下平喜隆

明けましておめでとうございませう。村民の皆様方には村政の推進に対し、ご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

村長に当選させていただいてから三年八ヶ月が過ぎました。就任以来、選挙で



に利用者の和やかな活気が溢れております。今後もこの素晴らしい施設が有効に利用され、村民の皆様一人一人が、心豊かに生きていく意欲や力を培っていただけるよう切望するものです。

私も公民館の運営に携わってから既に八年目に入ります。拙い努力を重ねながら



また、役場組織としての縦割りの欠点を修正するため、各係、各課、全体での「報連、相」を徹底し、課会を中心に組織の活性化に努めています。

交流学習センター「ゆめあるて」と図書館も立派に仕上がりました。これからはその機能が十分発揮できるよう運営方法を充実させていきたいと思います。

小規模特養も開所できました。横浜ゴムも河野八王子にて操業が始まり、三百名近い従業員の方が就業し、今春には北側へ同じ規模の工場の増設工事がはじまります。

村民の皆様にお約束させていただいた公約を実現するために、ひたすら走り続けてきたような気がします。

役場職員の挨拶の励行と仕事に対するモチベーションアップのために「誓いの言葉」を取り入れ、日々唱和する中で今では随分と挨拶も元氣よくできるようになりました。長野県一の明るい挨拶が飛び交う役場を目指します。

も、今まで多くの方々と巡り合い、たくさんの方々の学ばせていただきました。そうした中で、今で行なってきた事業も、工夫次第で



明けまして、おめでとうございます。

昨年は、本村にとって待望の交流学習センター「ゆめあるて」が完成しました。

開所以来、前年比二倍近い方が利用していただいています。館内はバリアフリーを目指し土足可で、すべての場所で飲食可能となっております。

玄関を入ると、ゆとりの



新しい葡萄酒は新しい革袋に

故郷を愛し輝く未来を拓く心豊かな人作り

教育長 筒井良一

人口増対策として昨年十六戸が建ち、今年は五戸の戸建て賃貸住宅が完成しました。また四月からは宅地造成として村内十三箇所を売り出す予定です。老朽化した給食センターの建て替えも七月には完成予定です。急がれていたインフラ工事をすべて仕上げることを

大きな効果を産み出せることを知りました。公民館では毎年数多くの事業を実施しています。しかし、大切なことは、それらの事業を



大ホールは、多目的に使えるようにしています。様々な集会や宴会等々利用していただいて、研修や交流の場となっております。

図書館のある村は、すべての村の四分の一くらいなのですが、本村にとって三代目の立派な図書館を開館させることができました。

また、開館にあわせて他市町の図書館とのネットワーク化も図り、八十万冊に

出来ました。

今年はいよいよリニア元年と呼ぶにふさわしい年となります。リニア対策委員会を住民の皆様と立ち上げる中で、諸問題に対してしっかりと対応していかなくてはなりません。さらなる村民の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

生を歩んでいただくことにあります。それ故に、この目的達成のためには、事業も、事前の準備や事後の影響力等も含め、常に工夫し、効果的な実施方法を模索していく必要があります。現代は、物質的には豊かな反面、心豊かに生きるには極めて難しい時代です。このような時代にたまたま公民館の運営に携わった責務の重大さを改めて痛感し、心を込めて役目を果たしていきたいと思ひます。

この二月からは、待望の常設の子育て支援センターも、現保健センター内に開設されます。

子育て中の皆様が気軽に立ち寄り、交流したり相談したり出来るようなセンターにしていきたいと思ひています。

本年が皆様にとって、平安、繁栄の年でありますことをお祈り申し上げて年頭のご挨拶とします。

及ぶ図書を借りることが出来るようになります。

これらの施設を文字通り人々の交流や学習の場として、今まで以上に利用をして、夢のある場にしたいと思っています。

四年生を対象に通学合宿も二年目となり、ますます充実してきています。本村の宝である慈恵園での安全で安心な合宿も定着し、心豊かな子どもの育成に役立っているものと思ひます。

本年度からは、保育園と子育て支援も教育委員会の管轄となり、充実してきています。

戦いをすれば必ず双方に不特定多数の死傷者が出る。それで国民を守ったことになるのか。とんでもない論理だ。特攻隊や自爆テロとどう違うのか。人の命の測り方が軽すぎる。「北風と太陽」の話を思い出して平和な世界を構築したい。

(目下部富次)

明治以降欧米に迫りつき追い越せ政策によって、日清、日露、第一次、第二次世界大戦へと猛進し、遂に敗戦という結末に到った。この間、無数の人類をはじめ動物等を殺傷、事物を破壊し尽くし、遂に核兵器という歴史上最悪の兵器の出現に到った。この非を反省し、第二次世界大戦後平和憲法をつくり、それを守って比較的平和な日本が続いた。

ところが最近急速に「戦争の出来る国」へと大きく転換しつつある。「国民を守る」と言う美辞麗句を使っ

段丘

「愛国心」「国を愛する」大変美しい響きを持つ言葉である。しかし、世界の歴史を振り返ると「くの為」と言う美名のもとにどれ程多くの命が奪われたことか。城主の為、君の為、国民の為等々、この「くの為」に。

人類の歴史は戦いの歴史である。戦う相手を多く殺し力で圧倒した方が正しいのである。戦争とは人を殺し殺され、事物を破壊することは当然なのである。如何に美辞麗句を並べてみても戦いは非人道的なのである。

日々精進の決意新たに

1月3日、「ゆめあるて」で78名の新成人を祝う



成人式で謝辞を述べる越野実行委員長

村の成人式が一月三日に行なわれました。今年は従来の保健センターではなく、昨年完成した交流学習センター「ゆめあるて」が会場になりました。それぞれ晴れ着に身を包んだ七十八名の新成人が集うと、たちまち式場の大ホールには晴れやかで華やいだ雰囲気がいっぱい溢れました。

当日は、澄んだ青空と穏やかな陽射しに恵まれた新春の好日でした。新成人のすべての方々が、この日の天候のように、穏やかに充実した日々を重ね、幸多い人生を歩んでいくことを願いました。

新成人としての決意と覚悟

成人式実行委員長
越野 智尋

新年明けましておめでとうございます。私も一月三日に成人式を迎えることができました。成人式の開催に際し、ご尽力頂きました皆様には心よりお礼申し上げます。

久しぶりに再会した友人達は中学時代より大きく成長し、目標に向かって日々学業に励む姿や、家庭を持ちそれを守るため日々仕事に励む姿に、驚きと喜びを隠すことができませんでした。私はその姿を見て、早く一人前の社会人となるために日々精進していこうと心新たに決意しました。

式典では、村長さんをはじめ来賓の皆様から温かいお祝いとお励みのお言葉を頂き、新成人としての喜びを噛みしめるとともに、今後の責任の重大さを痛感しました。皆様から頂いた意義深い教訓を胸に刻み、社会人の一員として地域へ貢献

していく所存でありますので、皆様よろしくお願い致します。しかし、私どもはまだまだ未熟者です。今後もし指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

私どものなかには、既に就職して働いている者もございいますし、学業を継続中の者もございいます。置かれた状況は違いますが、今後はそれぞれが一社会人としての自覚を持ち、これまで以上に慎重な行動を心がけていきます。

最後になりましたが、こうして成人式を迎えられたのは多くの方々の支えがあったからです。これまで育ててくれた両親、厳しくも温かく見守り導いて下さった恩師、幼少より温かく見守り続けて下さった地域の皆様には心よりお礼申し上げます。私どもの置かれた状況は違いますが、それぞれの立場で今まで支えて下さいました皆様に少しでも恩返しができるよう日々精進していきます。今後もご迷惑をお掛けすることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

河野獅子、秋田に舞う

全国獅子舞 フェスティバル 参加記 後編

練習の成果 万雷の拍手

河野大宮神社
獅子舞お囃子保存会
実行委員長
寺沢 宜勝

七月三十日の倉出しで久しぶりの獅子頭の感触、太鼓、笛の手触り、口触りを確かめつつ練習開始。始めは忘れていた感触を取りもどすのに四苦八苦。こんな状況で大丈夫かと不安な気持ちで先立つ中、秋田県から大宮神社と獅子舞の歴史について教えてほしいと一人の民俗学者がやって来る。斎藤壽胤氏（秋田県民俗学会副会長・今回の祭典総合プロデューサー）、民俗学の宝庫と言われる東北の伝承芸能に通じ、さらに平田篤胤の研究家としても知られる方。伊那谷が平田国学の先端地であった事も熟知しており、当地に何度か足を運んだ事もあるとの事。この方の鋭くも温かく興味津々の姿勢に秋田県の本気度を知り、練習への取り組みが腹の座ったものとなってきました。試行錯誤はあったものの練習は嘘をつきません。明らかな変化、手応えを感じる様になったのは、秋風の吹く頃。十月中旬以降は連夜の練習に拍車がかかる。初めての舞台演舞と

あつて境内に舞台の大ききの線を引きその枠内に納めるべく、立ち位置の確認、囃子方の観せる演舞力等、従来にない細部へも心血を注ぐ。

長かった三ヶ月の練習を終え十月三十日夜、大型コンテナ車に屋台獅子他、総て積み込み送り出すと、翌早朝総勢三十余名は二台のバスに乗り込み、一路鳥海山を目指します。道中獅子バスに集まる視線を楽しみながら。本番は全国から集まった十五団体が三十分の持ち時間をフルに使って特色ある演舞を繰り広げる。プロの様な集団から素朴な神楽舞まで、溢れるほどの観衆を魅了してゆく。やがて私達の順番だ。最初の大太鼓の一打に息を詰めていた全員の心が解き放たれると、あとは積み重ねてきた練習の成果が流れる様に発揮されてゆく。幕が降りる。一呼吸あつて万



全力を尽くした後のさわやかな充実感が伝わってきます

雷の拍手。私達の活動の終わりで始まりの瞬間だ。

シリーズ「元気な高齢者」

今も多彩な活動

菅沼友子さん

九十四歳

小園在住

九十四歳とは思えぬしっかりした足取りで席にいられた。



現在は柿を燻蒸室に吊し乾けばほぞ切り、完成すればバック詰め等を日課とする。夏には家周りの草取り、主人の月命日には墓の掃除。食料は月二回のはつらつへの帰りに調達。無くなれば電動車イスでパルムまで買い出しに。更に公民館学習会へ出席、伴野老人会によるこぶし園等へのボランティア活動に参加。又毎週勤福センターで体操教室へ出席等積極的に参加している。

このエネルギーはどこから生まれるのか。それは幼

年期から成人初期にかけての体験にあった。

小六の時、健康優良児として表彰されたほどの健康な体に育ち、成長してから大陸に憧れ大陸の花嫁になりたいと思うようになった。当時高森町出身で（北朝鮮の日本人学校で教師をしていた男性を紹介され、朝鮮に渡る。間もなく主人は徴兵され別々の生活となる。やがて敗戦、ソ連軍などの侵入により生活は破壊される。貴重品を隠したが、身の危険を感じ、品物を渡してかろうじて逃れる。逃避行中、顔に煤を塗ったりして米を恵んでもらい歩く。優しく接してくれる人にも出会えたが、主に藜の葉を食へ雑炊をすすりながら逃

げ延び二十一年五月に帰国した。

ところが主人は除隊して一足早く帰国し、友子さんは死亡したものとされ職場で懸命になった女性が居た。その後様々な経験を多くの人々の支えによって再出発することとなった。

逃避行中食料などを恵んで下さった（北朝鮮の人々や帰国後支えて下さった人々に今でも感謝の念は消えない。更にあの当時の苦勞を思えば、どんな生活にも耐えられる、こうした苦しみ若し人達に是非知ってもらいたいとしみじみ語って下さった。

文責 日下部富次
桐崎 長一

公民館

冬季レクリエーション大会

〔日時〕 二月十一日（水）
（建国記念の日）

八・三〇 受付

八・四五 開会式

〔場所〕 村民体育館

〔種目〕 ソフトバレーボール（混合の部・女子の部）

* ニュースポーツとして「ワンバウンドふらばーるバレー」も体験

〔参加申込〕 二月四日まで

に公民館へ

◎詳細は別紙参照

お知らせ

ぜひ参加を

四季大学 冬季講座

丸山克俊先生は、大学生の頃から四十五年間に亘り、幼児期の体育指導に関わってこられました。この四季大学「冬季講座も、毎年、年中・年長児を相手にパワフルな体育あそびの公開保育を展開しています。

今回は左記により講座が開催されます。ご来校も参観できますので、幼児教育に興味のある方はどうぞお出かけください。

記

開催日 一月二十九日

時間 午前九時～十一時

場所 中央保育園

※都合の良い時間にお出かけください。申し込みは不要です。

公民館 まつり

公民館では、日々多くの方が教養を高め、趣味を楽しむ、健康維持のために積極的に活動されています。とよおまつりや文化祭で成果を発表していますが、今年度初となる『公民館まつり』の実施に向け、計画を進めています。

まつりに併せて「公民館功労者表彰」教育委員会スポーツ表彰」を行なう予定です。詳細は館報二月号でお知らせいたします。

記

開催日 三月二十八日

時間 午前十一時～

場所 四時ころ

ゆめあるて

ホールほか

2015年 紙上年賀状 未年生まれ 新年の抱負 毎日を普通に過ごせる幸せを

今年は未年です。羊はいつ見ても実に穏やか顔をしています。ぜひ羊のように平和で穏やかな年になってくれるよう祈るものです。未年に当たる方々に新年の抱負をお願いします。

目標はこの2つ!!

12歳 高本美咲



明けましておめでとうございませう。私は今年六年生になります。六年生になつてがんばりたいことは勉強です。私は計算と漢字が苦手です。なので、宿題もやり、毎日コツコツと自由勉強をやつていきたいです。次に、バレーです。六年

今年は中学生

12歳 酒井誠吾



明けましておめでとうございませう。今年の四月からは、中学生です。楽しみながらも不安な所もあります。

村の行事にも参加し

24歳 原 美侑



一つは、どんな勉強がでるかと言う事です。小学校の時よりも難しい勉強がでるかどうかです。後は、部活は自分にあつたものがあるのか楽しみです。友達も北小学校の人達とも一緒にになるので楽しみです。南小学校の友達、北小学校の友達と仲良く楽しい中学校生活を送りたいです。また、先輩達とも良い関係をきずき上げたいです。今年も楽しく笑顔いっぱいになるように努力したいです。

仕事に育児に 充実した一年を

36歳 原 直美

明けましておめでとうございませう。飯田から嫁いで六年目の春を迎えました。

一日を大切に

48歳 森田理恵

新春を迎えお慶び申し上げます。豊丘村に嫁いで十数年、豊かな自然や地域の皆様に囲まれ、毎日を普通に過ごせる事が一番幸せだと感じ



昨年は、十七年ぶりの消費税引上げがあり、物価にも大きな影響を及ぼして、財布を気にしながらの生活です。

そんな中、村では「ゆめあるて」が完成し、公民館や図書館の機能が充実したことを実感しています。

私の場合は、四歳と二歳の子供が昨年春から保育園に入園したのをきっかけに再就職しました。それができたのも家族の応援のおかげと感謝しつつ、仕事に育児に、より一層充実した一年を送りたいと思います。

自分は自分で

60歳 武田正雄



しいと思つた事は思つた時にする。抱負などと言葉にせず自分の思つたように行動する。これしかないと言つ結論に達しました。この頃は良からぬ方向に沿わせようとする勢力が台頭してきているように感じますが、基本的には反体制で行きたいと思っています。

新年の抱負

72歳 森田恒廣



明けましておめでとうございませう。公民館より新年の抱負を依頼されたこの機会に、六十歳の自分を考えてみました。しかし何も浮かんでこない。何故だろうか? 散々考えたあげく、ふと思つたのは、自分は自分で良いのではないかと。体制に沿わず、無理はせず、楽

読書の楽しみ

新しい世界の扉

図書館は 夢の国

教育委員会事務局 造船圭子



私は幼い頃から読書が大好きでした。毎日必ず読書をしていて、一番継続していることでもあります。字を覚えたりきつかけは、親が読み聞かせしてくれるお話の続きが早く知れたかつたからです。自分で読めるようになると、親に買つて

本の疑似体験ができることです。わからない事柄があつた時も、インターネットで調べるのと同時に図書館に行きます。調べたい分野の本を何冊か借りると、最初に知れたかつた以上のことがわかります。本から得た知識や発想に助けられたことも何度もあります。本はいつも新しい世界への扉を開いてくれる鍵でした。

今でも、おもしろい物語に出会うとわくわくします。読書に没頭できる就寝前は、とびきり贅沢な時間です。これからもたくさんの素敵な本との出会いを期待して、私の図書館通いは一生続くと思います。



て六十余年が過ぎました。これも地域の皆様や家族の支えがあつたればこそと感謝しています。

晩節は、四季の自然の美しい移ろいの中一日一日を大切にし、自分史としても心に残る俳句を作つていきたいと思つております。良き師、良き句友にも恵まれ、感謝しつつ健康を維持しながら焦らず素直に俳句を楽しみ、程々に野の仕事もしていきたいと思っています。

句作を楽しみ

84歳 田中 静

新春をお祝い申し上げます。七回目の未年を迎えました。この里にお世話になつ

最後に皆様方の御多幸をお祈り申し上げます。



こちら資料館 149 38年前発掘の土器に 新たな光

「白登展」関係で中断しておりました、村内出土の「お宝」に話を戻します。

前回紹介したパン状炭化物が出土した伴野原の同じ住居跡からもう一つ大変な(?)土器が発見されています。それは埋め瓶として使用されていたもののようですが、植物の種子らしいものの跡がたくさんついています。それも土器の外表面や内面だけでなく断面にも確認され、見えるものだけで一八五ヶ所もあります。大変貴重な土器と思われるま

すが最近まで注目されることが全くありませんでした。ところが、先月(二月)明治大学教授の会田進先生(前長野県考古学会会長)が調査に来られ「これは大変興味深い。詳しく調べたい。」と言つて自分の研究室に持って行かれました。氏によると、種子は小豆の仲間だろうが、こんなに多量に含まれている土器は他に例がないとのこと。ま



大きさ推定 (口径37cm 高さ52cm)

た、なぜかは分からないが、土に種子を練り込んで器を作り、それを焼き上げたと考えられるとのことでした。調査結果は三月中旬にある程度知らせてくれるそうです。ひょっとしたら新しい大発見があるかもしれません。期待が膨らみます。



唐澤武彦(資料館主任)

